

◆製品安全データシート

TMC

TotalManagementConsulting

作成年月日:2014年 4月 1日

1 化学物質及び会社情報

製品名 : リベルシールド
会社名 : 株式会社ティーエムシー
住所 : 〒184-0012 東京都小金井市中町2-12-17
電話番号 : 042-381-0158 ファックス番号 : 042-381-0158

2 危険有害性の要約

(GHS分類)

引火性液体 : 区分 2
急性毒性 経口 : 分類できない
経皮 : 分類できない
吸入(ガス) : 分類できない
(蒸気) : 分類できない
(粉塵・ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 : 区分 外
眼損傷性・刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 区分 1
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 区分 1B
授乳に対する又は授乳を介した影響に対する追加区分 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) : 区分 外
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
水生環境有害性(急性) : 区分 外
水生環境有害性(慢性) : 区分 外

(GHSラベル要素)

「絵表示、注意喚起語」



危険

「危険有害性情報」

引火性の高い液体及び蒸気
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

「注意書き」 (予防策)

- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 熱、火花、裸火、高温体のような着火源からとおざけること。禁煙。
- ・ 防爆型の電気機器、換気装置、照明器具、工具を使用すること。
- ・ 保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用すること。
- ・ 火災時は炭酸ガス消火器、泡消火器及び粉末消火器を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・ 取扱時には飲食や喫煙はしないこと。

(応急処置)

- ・ 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・ 皮膚等に付着した場合 : 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
- ・ 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・ 漏出した場合 : 漏出物を回収すること。

(保管)

- ・ 涼しく換気の良い冷暗所で保管すること。子供の手の届かない所に保管すること。

(廃棄)

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

「その他の危険有害性情報」

- ・ 本品は水、アルコール及び酸と反応して穏やかにメタノール等を発生する

3 組成・成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名、Cas No.
メチルトリメトキシシラン : 1185-55-3
ジメチルジメトキシシラン : 1112-39-6
メタキシレンヘキサフロライド : 402-31-3
アルコキシシロキサン : 非公開
アルコキシド : 非公開
ジメチルポリシロキサン : 非公開
オルガノポリシロキサン : 非公開

4 応急処置

- 吸入した場合
・ 空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い場合には医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合
・ 汚染された衣類を取り除くこと。石鹼と多量の水で洗い流す。
・ 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合
・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
・ 直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合
・ 口をすすぐこと。直ちに医師の診断を受けること。
- 応急措置をする者の保護
・ 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気を付けさせる。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 医師に対する特別な注意事項
・ 症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

- 使用可能消火剤
・ 炭酸ガス消火器 ・泡消火器 ・粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 消火方法
・ 火災や爆発の場合、ヒュームを吸入してはならない。
・ もし危険を冒さずにできる場合は火災区域から容器を移動させる。
- 消火を行う者の保護
・ 消防士は防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
・ 作業際には適切な保護具を着用する。
・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
・ 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
・ 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
- 環境に対する注意事項
・ 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材
・ 漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。
・ 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置する。
・ 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
・ 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。
・ 大量の流出には盛り土で囲って流出を防止する。

7 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意
・ 換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
・ 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・ 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。
・ 工具は火花防止型の物を使用する。
・ 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり眼に入らぬよう保護具を着用する。
・ 取り扱い後は手や顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- 保管上の注意
・ 日光の直射を避ける。通風の良いところに保管する。(冷暗所保管)
・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
・ 盗難防止のために施錠保管する。
・ 子供の手の届かないところに保管する。

8 暴露防止及び人に対する保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)

メタノール(分解生成物) 管理濃度 200ppm 許容濃度 200ppm ACGIH(TLV-TWA) 200ppm

設備対策

- ・呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク
- ・眼の保護具 : 保護手袋を着用すること
- ・眼の保護具 : ゴーグルを着用すること
- ・皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する
- ・適切な衛生対策 : 取扱い中は禁煙。皮膚に触れないようにする。休憩前や製品取扱い直後に手を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9 物理的及び化学的性質

- | | | | |
|-------|------------|-------|--------------|
| ・状態 | : 液体 | ・蒸気圧 | : 11kPa(25℃) |
| ・色 | : 無色透明 | ・蒸気密度 | : 4 |
| ・臭い | : 微臭 | ・可燃性 | : あり |
| ・比重 | : 1.0 | ・溶解性 | : 不溶(加水分解) |
| ・沸点 | : 82℃～ | ・PH | : 該当せず |
| ・引火点 | : -10℃ | ・その他 | : 特になし |
| ・爆発範囲 | : 1.5%～36% | | |
| ・発火点 | : 200℃以上 | | |

10 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件では安定(湿気を吸って加水分解を起こしメタノールを生成する)

混触危険物質 : 強酸化剤、水、酸、アルカリ。

危険有害性分解生成物 : 本品は湿気を吸って加水分解を起こしメタノールを発生する。
又酸化剤、水、酸、アルカリ化合物と穏やかに反応してメタノールを生成する。

11 有害性情報

ジメチルジメトキシシラン

亜慢性 経口 NOAEL ラット : 250mg/kg bw/day

急性 経口 LD50 ラット : 4235mg/kg

メチルトリメトキシシラン

急性 経口 LD50 ラット : 12300 μ l/kg

アルコキシシロキサン

危険有害性情報なし

メタキシレンヘキサフロライド

急性 経口 LD50 ラット : >2000mg/kg

急性 経皮 LD50 ラット : >2000mg/kg

アルコキシド

急性 経口 LD50 ラット : 3122mg/kg

ジメチルポリシロキサン

危険有害性情報なし

オルガノポリシロキサン

危険有害性情報なし

メタノール(分解生成物)

急性 吸入 LC50 ラット : 87.5mg/16hr

急性 経口 LD50 ウサギ : 14.4g/kg

急性 経口 LD50 マウス : 7300mg/kg

急性 経口 LD50 ラット : 5628mg/kg

急性 経皮 LD50 ウサギ : 15800mg/kg

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 強い眼刺激

皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

特定標的臓器毒性(単回暴露) : 中枢神経系、視覚器、全身毒性に影響を与える可能性。気道刺激。麻酔作用

特定標的臓器毒性(反復暴露) : 長期にわたる又は反復暴露により中枢神経系、視覚器に影響を与える可能性。

その他の情報 : 加水分解を起こしてメタノールを生成する。

12 環境影響情報

メチルトリメキシシラン	:	有害性情報なし
ジメチルジメキシシラン	:	有害性情報なし
メタキシレンヘキサフロライド	:	EC50 オオミジンコ: 2.3mg/l 48hr NOEC50 オオミジンコ: 0.55mg/l 48hr 水性生物に毒性。長期的影響により水性生物に毒性。
アルコキシシロキサン	:	有害性情報なし
アルコキシド	:	有害性情報なし
ジメチルポリシロキサン	:	有害性情報なし
オルガノポリシロキサン	:	有害性情報なし

13 廃棄上の注意

焼却処理。その際フッ素系ガス及びシリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願いします。
また必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願いします。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。
本物質を下水や給水設備に流さない事。内容物や容器は地域、地方、国、国際法律に従って処理する。

14 輸送上の注意

- ・ 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・ 容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ対策を確実にすること。

国内規則

- ・ 国内輸送については15章の規則に従うこと
- ・ 緊急時応急措置指針番号 : 128

国際規則

IATA

Basic shipping requirements

- ・ UN number : 1993
- ・ Proper shipping name : Flammable liquid N.O.S
- ・ Hazard class : 3
- ・ Packing group : II
- ・ ERG code : 3H

IMDG

Basic shipping requirements

- ・ UN number : 1993
- ・ Proper shipping name : Flammable liquid N.O.S
- ・ Hazard class : 3
- ・ Packing group : II
- ・ EmS No. : F-E, S-E*
- ・ Marine pollutant : Not regulated
(P /Not regulated)

15 適用法令

労働安全衛生法

- ・ 危険物 : 引火性の物
- ・ 特化則 : 該当せず
- ・ 有規則 : 該当せず
- ・ 通知対象物質 : 該当せず
- ・ 表示対象物質 : 該当せず
- ・ 毒物及び劇物取締法 : 該当せず
- ・ 化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律 : 該当せず
- ・ 化学物質排出把握管理促進法 : 該当せず
- ・ 消防法 : 第四類第一石油類(非水溶性液体) 危険等級II
- ・ 船舶安全法・危規則 : 引火性液体
- ・ 航空法・施行規則 : 引火性液体
- ・ 火薬類取締法 : 該当せず
- ・ 高圧ガス保安法 : 該当せず
- ・ 海洋汚染防止法 : 該当せず

16 その他の情報

参考文献 ・ HSDB® JIS Z 7250 2005 化学物質等安全データシート 日本化学工業会GHS対応ガイドライン
・ IRAC発がん性評価モノグラフ

本データシートは、作成時又は改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取り扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したのではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。また本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり保証値ではありません。

本製品を当社が認めた以外の物と混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件下で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。なお医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。